

第3・4回五泉市総合計画市民まちづくり会議 [結果報告]

開催日:第3回 平成28年6月22日(水)

第4回 平成28年6月27日(月)

◆意見交換:「新たな計画への『投げかけカード』をつくろう！」

- [作業内容] ① 新たな計画の施策部分に関する「今後解決すべき問題・課題」や「取組の視点」などを意見出するため、現計画(全51施策)の「今後の取り組み」について、提案・意見する『投げかけカード』を作成し、施策テーマごとに意見交換を実施。
 ② 全体で成果を再確認後、自分以外の『投げかけカード』で同意するものに「いいねシール(一人3票まで)」で投票。

[各回の施策テーマ]

第3回会議	第4回会議
No. 1~9(いきいきの泉水)	No. 26~36(ふれあい・活気の泉水)
No. 10~17(安心の泉水)	No. 37~42(快適の泉水)
No. 18~25(安心の泉水)	No. 43~51(計画の推進)

[作業結果] ※いいねシールの投票があった意見:黄色で着色、3票以上は赤文字

基本政策	施策No.	項目No.	意見No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいねシール数
						市民	事業者	行政	
いきいきの泉水	1	1	1	地域の特性を活かした特色ある教育を推進するために、各小中学校に地域コーディネーターを配置する	左記目的の為			市の条例か規則に位置付ける	1
		2	2	スクールカウンセラー配置事業の充実・確立	悲劇が起きないように。いじめの有無がグレーである			学校教育課、教育委員会	
		3	3	ここ数年で大きく前進しているように感じる。親としても大変ありがたいが、現場の意見は反映されているのか			負担だけが増えているのか	現場の意見を重要視する	
		6	4	通学路の安全を確保する	長い間、危険とわかっていてそのままにされている道路があるのではないか	子どもの安全に対する意識を高める		市民の声を聞き、そのままにしないという姿勢を示す	
		5	5	通学路の見直しを含め、検討すべきではないか	まだまだ危険な場所が見落とされている	積極的に声を上げる		実際に歩いているのか?	
		6	6	小中一貫校の研究	児童、生徒数の減少				
		7	7	金銭教育を親子ともに学ぶことが必要?	物の豊かさにおぼれ、物の大切さが薄れている	環境問題と同じ位大切と考える			
	2	1	8	幼稚園で地場の木材を使った教材、遊具を	プラスチックより木材の方が安全				
		2	9	スマートホンの使用に関する教育を行ってほしい	スマートホンの利用が使い方によってはいじめに関係していると感じるし、犯罪に巻き込まれる可能性がある	親子で話し合う		授業で扱う	3
		10	10	ITを取り入れたシステムを導入し、個々に合わせた楽しく高度な学習を推進すべき	様々なシステムが広がっているのに、五泉市はほとんど取り入れていないため			全国に目を向け、担当者・多くの先生方に学習のチャンスを提供する。良いものはスピーディに取り入れる	
		3	11	子どもが一日8時間以上も過ごす学校であるので、整備を進めてもらいたい	予定されていた大規模改造工事が中止されたと聞いている				
		12	12	学校にエアコンの設置をすべき	近年の異常な暑さに体調を崩す生徒が多く、集中して学習できる環境でないため			導入を検討する	
		4	13	学校給食が自校方式に移行しているが、親や市民の皆様がどんな給食を食べているのかな?	子どもと一緒に給食を食べたらいい思い出になると思う	興味を持ってもらいたい			2
		14	14	栄養教諭・栄養士の増員をする	自校式給食の施設が整ったので、ソフト面での一層の充実を図るため			県に働きかけたり、市採用者を増やす	1
	3	3	15	寺子屋・週末活動など、子どもの学校外での学びの場に達人バンクや地域住民が参加できる仕組みを作る	そのような場で学習だけでなく、地域を知ることや社会的なマナーが学べたら子どもたちの「市民力」が高まる				3
		4	16	児童館を設けられないか	未就園児には親子で利用できる子育て支援センターがあるが、就園児(降園後)、小学生以上にも遊びの場を提供してほしい			まずは検討を	
		17	17	寺子屋のおやつをおにぎりに変更できないか	お腹がいっぱいで夕飯が食べられないケースが考えられる。お米の消費にもつながる				1
	4	2	18	全国的に有名な選手等による直接指導の機会を設ける	一流のスポーツのスキルに触れることによって知識・技術の向上が図れる	指導の機会を設けられるよう、情報を求める。関係機関に働きかける	経済的・精神的支援を	情報の収集・発信	
		19	19	競技スポーツの振興、ジュニア選手の育成強化	年4回程度プロ選手を呼び、話や競技で触れ合う機会にて、精神と技術を磨かせて選手の底上げができる				
		4	20	バスケット(bjリーグ)の試合を市内で行う	新潟アルビレックスBBが県内にある。プロの試合を見る機会は重要だと思う	お客さんとして参加		試合の誘致	
		5	21	ランニング、ウォーキング、自転車など箱モノがなくてもできるスポーツができる環境を整備してほしい	今盛り上がっている紅葉マラソンなどあるが、公園内や市道など、破損や環境が悪いところがある	健康増進	公共事業による		
		22	22	サイクリングロードが安全な施設として充実していればと思います	交通事故の心配のいらぬサイクリングロードが必要			ロードの整備	
	5	23	23	市民プールの整備	老若男女問わずできるスポーツだが、夏しか使えない				
		1	24	コンサートができる文化ホールがほしい	多人数が集まれる文化施設がない				
		25	25	コンサート開催事業	コンサートが開催できる市民ホールの整備が必要だと思う。芸術文化をもっと身近に感じたい、楽しみたい				
		3	26	複合施設の計画があるようなので、この建物の一画に美術館(画廊)的な設備を取り入れたい	五泉出身(在住)の芸術家もいるので、そういう方への作品を展示・收藏する(作品が散らばらないように)				1

基本政策	施策No.	項目No.	意見No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいねシール数	
						市民	事業者	行政		
いきいきの泉水	5	3	27	音楽関係・作品発表関係の専門施設の建設	より質の高い活動・発表ができるように	より質の高い大会・作品発表の機会への参加	文化活動への援助・支援(物・人・金)	芸術文化関係の情報の提供、施設の設置	2	
		-	28	さくらんど会館の有効利用を	以前はコンサートなどをしていた					
	6	4	29	カフェスペースの新設。お茶飲み場					1	
	7	3	30	村松郷土資料館の面積を広くする(建物を広げる)	小学生が見学に行っても、1クラスが入ったらぎゅうぎゅうになる。もっと広い建物にしてほしい					
		4	31	新旧問わず歴史をもっと内外に向けて発信するべき	例)忠犬タマ公など道徳に役立ちそうな逸話が埋没している	歴史を通じてもっと地域に魅力を	逸話の名の入った銘菓など	情報発信が一番必要		
	8	1	32	市内の中心部に	高齢者も子どもも気軽に立ち寄れる交流施設がほしい	年齢に関係なく、個人として気軽に時間を過ごす中で関わられるようなオープンな場があるとよい			4	
		3	33	高齢者に地域の歴史や文化財の語り部になってもらう	いろいろな世代との交流や文化財を守る					
			34	高齢者から昔ながらの食べ物を教わる	核家族化で伝わっていない。味噌作り、笹団子づくり				高齢者と若い人とのつながりを手伝ってほしい	
			35	高齢者でも技術を持った方を掘りおこし、講師としての場を提供する	安い講師料で大勢参加できている(例として小物づくり等簡単なものが良い)	参加する			補助金を出す	4
		36	元気な高齢者に保育所の代わりに子どもを預けることはできないか?	保育士さんが足りないのであれば、子育て経験のある人に手伝ってもらえばいいと思う						
		-	37	市民農園を確保して高齢者の方々に生きがいを持ってもらい、なお健康になって長生きしてもらう	体を動かすことが健康の秘訣かと思う				遊休農地が増えているので解消になる	1
	38	高齢者雇用や障がい者雇用を推進	雇用の拡大					民間事業者への優遇制度		
	9	5	39	企業側への障がい者就労支援に関する周知を図る	障がい者について、また、就労支援制度について知らないことで、進まない現状が多いと思われる。初めは雇用率のしぼりがスタートであったとしても、関わることでつながり、たとえ課題が残ってもその次にまたつながられる			障がい特性を理解したうえで適性に応じた支援を組み立て、一人でも多くの方の就労をサポートする	ご本人状況に応じたサービス支給の決定と前向きなサポート	
			40	高齢者雇用や障がい者雇用を推進	雇用の拡大				民間事業者への優遇制度	
			41	農業現場(環境)への参加	農には「いやし」の効果もある					
	6	42	「障害者差別解消法」、「障害者虐待防止法」など、一般の方にはまだ耳慣れないものかもしれないが、福祉関係者がまず内容をしっかり理解し、真摯に支援を行い、社会へアプローチしていく	社会全体の「流れ」ができるまでにはある程度時間がかかると思います。まずは関わる者からあるべき形を示し、社会全体のイメージを転換する必要があると考えます			本人の意向を大事にした支援に努める。市民とのクッション役として接点づくりに努める			
		43	「障害者合同フォーラム」の充実、「福祉ボランティア講座」「精神保健フォーラム」等のより一層のPRにより、啓発活動が進むことを期待します	障がい者理解は「知る」ことから始まり、そのためには接点が必要です。関係者以外の一般市民の方に理解・支援が広がることが大切です	障がい者合同フォーラムは子どもが楽しめる仕掛けを作る。子どもを連れて大人が足を運ぶことで接点を広げる					
		44	学校教育の中で差別について考える	障がい者の自立、社会参加にはまずこれから!						
安心の泉水	10	2	45	市内の病院に産科を	安心して子どもが産めるように					
		46	産科の整備をするために医大と連携を	少子化といわれていながら産科がなく、産む体制がない						
	4	47	いろいろな悩みや関心があると思うので、出た内容のデータベース化を図る	データベースがあれば同じ悩みを持つ人等が早く解決策を知ることができると思う				データベース(冊子またはHP)の作成		
	11	1	48	土曜保育は拠点園でも給食を提供する(保育園)	土曜日も通常の保育を提供するため(土曜就業は多い)。2号、3号利用者の公平さを保つため(私立提供あり・公立なし)	希望の声を出す			給食提供も土曜日の通常保育に含める	
		2	49	保育園で一時預かり保育を実施する	子育て支援センターでは一時預かりを実施しているが、昼食持参となっている。ケースによっては昼食持参は難しい(例:1日希望の場合)				受け入れる園を決め、受け入れの枠を設け、登録している代替の保育士を使うなど(公も私も)	
		3	50	保育士の確保は課題であるが、今の採用基準はどうなっているのか?	結果的に民からの引き抜きにならないか?					
		4	51	効率化を推進しすぎて弊害はないのか?	保育環境は大変重要である。この部分にはもっとお金を使うべきではないか?			民としてのノウハウを活用する	最大限のバックアップを行う	
		6	52	学童保育の環境差を解消する	施設による差が大きいことから				できるだけ早く学校施設の有効活用を図る	
		-	53	保育園の完全民営化	公立と私立とのサービスが違いすぎる(休日保育、延長保育、保育給食など)					
	12	2	54	子育て支援のさらなる拡充	人口減少に伴い、子育ての状況が変化するというので			民間事業者の力を借りる	民間の力を活用し、協力・サポートする	
		3	55	今後、小中学校でも少子化で空きクラスが増えると思われるので、そのスペースで地域の高齢者や子育て中の若いお母さんと一緒にふれあってもらいたい	年上の人、年下の人との交流で人間形成が育むと思います				積極的に関わってほしい	1

基本政策	施策 No.	項目 No.	意見 No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいね シール数	
						市民	事業者	行政		
安心の泉水	12	4	56	子育て電話相談の充実(できれば24時間体制)	いつでも相談できるとわかっていると、安心して心強いから	電話での相談		電話相談体制の充実	1	
		6	57	若者の収入増を図る	子育てにはお金がかかる。ぎりぎりの生活では子どもを産むことがなかなかできない	子どもを余裕をもって育てられるように努力・行動する	賃金UPの努力をする	事業者に対する様々な優遇措置を実施		
	14	4	58	各種大会を増やし、もっと市民が参加しやすく	健康寿命のために					
			59	運動習慣をつけるため、イベントに合わせて楽しいウォーキングイベントを立ち上げる	今まであまり関心がなかったものに興味を持ってもらう		安全のための協力			
		-	60	市営のスポーツジム施設を	高齢者にも負担の少ないALLシーズン使えるプール施設が市内に無い				1	
	15	1	61	なかなか上がらない特定健康診査の受診率を上げる工夫が必要ではないか	検診は健康の基本。全員が受診できるようにしてほしい					
	16	2	62	各学校に栄養士か栄養教諭を配置する。小・中学校に自校給食の施設は整ったが、人的な面ではまだ足りていない(食育の推進のために)						
		3	63	畑・田んぼに見学に行く	収穫はもちろん、除草作業なども手伝い、農業を身近に感じてもらう	野菜を指名買い(生産者)できる	身近に消費者とつながってもらう		1	
		5	64	外食でも健康に。家庭での食事に比べ、配慮に欠ける	外食でも減・無農薬を提供するお店が少ない	外食の選択肢が増える		生産者(無農薬)を増やす		
		6	65	和食をもっと取り入れるべき	核家族化で古い食文化が失われている	お年寄りなどにたくわん・梅干し・味噌作りを習う		場所の提供、イベントの告知	1	
			66	地産地消、手作り食事を推進	朝食抜きの家庭やコンビニ弁当の流行で若い人の手抜きが多くなっているのでは?	自分もとより子どもの健康を考える			2	
		-	67	農学部と連携し、食育に活かす(愛宕中の参加は見られる)	せっかく大学施設があるので、有効利用ができないか?				2	
	17	5	68	男性(の高齢者)も気軽に地域の「お茶の間サロン」的な集まりに参加できるような意識づけ。高齢者に限らず、地域全体で取り組む						
		-	69	全ての高齢者が元気で長生きできるよう、若い時から栄養・運動・休養を学ぶことが大切	若い時からの生活習慣が結果に出ると思う	参加する		指導する		
	18	1	70	地域医療体制の充実が必要	少子化なので安心して子どもを産める環境づくりが重要と思う(産科がない等)				6	
			71	安心できる産科がほしい	新潟市まで行かないと入院できる産科がないと聞いている					
			72	既存の総合病院を利用し、市立もしくは県立の病院で緊急時や産科の体制を作る	加茂でもめてるくらいなら五泉に!!					
			73	基本方針をぜひ実行してもらいたい	健康で安心・安全な生活を生涯続けたい	日頃健康維持に努める	健康診断等確実に行う	左記二者への相談等充実		
		2	74	具体的な事例を挙げて早急に確保すべきではないか	ここ数年、医療体制は弱体化しているように思う	個々が知識を得る	連携して検討する	同左		
	5	75	広報以外にも、HPに最新情報をUPしてほしい。また、24時間照会できる電話連絡先があると良い	広報誌は無くしてしまう可能性がある。現代はインターネット利用者が多い。電話は楽	必要な時に聞く		HPへの掲載、電話の設置			
		76	休日・夜間等、市内で救急医療を受けられる体制が必要	時間外で対応してもらえる病院がなく、新潟までいかなくてはいけないことが多くある			医療体制の整備を進める			
		77	夜間診療や日曜当番医制はありがたいが、特に日曜・祝日は大変混み合っています。広域医療で日曜・祝日に治療できるようにしてもらいたい					3		
	19	3	78	年金制度の周知徹底をする。中学生・高校生に授業の中で説明する機会を設ける	年金制度は複雑で分かりにくい。無年金者になると大変なことになる	年金について知る努力を惜しまない	どの業者も年金制度に加入してもらいたい	直接中高生に話をしてもらいたい		
			79	高齢者用に保存版のわかりやすい制度周知のチラシを作成する	高齢者はインターネットよりも紙の方がわかりやすい			啓発チラシの作成		
		-	80	将来的に人口が大幅に減少することが予想される為にいろいろな弊害が生じると思いますが、心配するのは税収が減り、市民サービスの低下に直結すると思います。		共通の意識を持つことが大事だと思う		20~30年後のシミュレーションをPRすべきだと思う		
	20	1	81	地球温暖化が近年問題視されています。降雪量も例年少なくなってきました。河川にも影響が出始めています	地下水の水質にも悪影響が出るのが心配です	「水」に対する興味を持ってもらいたい	土地改良区にも河川からの取水量の調節なども考えてもらいたい	水に対するPRを積極的に		
			82	水の水質は水道水だけでなく、地下水など幅広く調べて情報を公開する	五泉の地下水をこれからも市民が大切にしていきたい					
21	2	83	交通量の多い道路の歩道整備	学生や高齢者の歩行の安全性を向上させる	安心して子どもや高齢者を送り出せる		市道・県道での用地買収や県との調整			
		84	歩道の整備・防護柵を設置する	高齢者が増えていくので						
		85	通学路(スクールゾーン)に見守り人員の配置	歩道の整備は時間と費用が掛かるため				1		
	4	86	農業用水路の防護柵や点検など	大雨などにより農業用水路も非常に危険になる		土地改良区で点検	看板などの設置			
4	87	防犯カメラを設置したらどうか?	五泉市も例外ではない				1			

基本政策	施策No.	項目No.	意見No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいねシール数		
						市民	事業者	行政			
安心の泉水	22	1	88	小学校や中学校で環境教育を実施する	エコの重要性は小さいうちから身につけた方が良くと思う	ごみの分別、家族での話し合い	リサイクルの仕組みの説明、工場見学	啓発資料の作成			
		2	89	川魚を保護・保全し、市内外にアピールすべき	川は市民にとって身近な自然だから、そこに住む魚、水生昆虫などをとらして環境に配慮してほしい	幼稚園・保育園～中学校まで授業で取り扱う		夏休みのイベントなどを行う			
		4	90	環境汚染により、ハエ・蚊による新しい病気が増えてきています。デング熱やジカ熱などの伝染病が発生する恐れがある	温暖化の影響が大きいと思われる				もしものために勉強しておく必要がある		
			91	市民ボランティアによる情報を積極的に集める仕組みを作る。インターネットなど(河川、ごみ 他)	行政だけでは調べきれないところもあるので(時間・人の面で)	情報収集・提供			情報の一元化・公表		
		5	92	再生可能エネルギーの推進および行政の積極的な民間事業者へのサポート体制の確立	民間事業者では費用面や関係者とのつながりを出すのが難しい				意欲のある企業へのサポート体制の確立		
		—	93	森林資源を利用すべき	山に眠っている木材を使って薪、炭、加工品を作り、利用する		市内の木材を箸にして給食などで使う				
			94	法律で「野焼き」は禁止になっておりますが、条例の改正をお願いしたい	農業は五泉市の大事な基幹産業です。農業をやっていくうえで最低限必要な作業です				環境保全課、農林課	3	
	23	1	95	日中、地区に居て、最低限の消火活動(ポンプ操作)ができる人を育成する	消防団員は日中、地元にはいない	地域住民			消防署		
	24	—	96	防災体制の整備を上げる努力が必要	地区ごとの自主防災組織育成が緊急時の対応のために必要						
			97	消防団だけでなく、地域や企業の防災組織を構築	消防団員は働き盛りの世代が多く、いざとなった時に地元にはいないことが多い	地域のつながりを強める	地域と企業をつなげ、防災体制を整える		防災意識を高める		
		3	98	インフラの耐震化事業の拡充	人の集まる建物は耐震化されてきたが、道路に埋設されている下水道施設には行われていない					予算の確保	
		4	99	情報保障が必要な人たちに対しての情報提供の方法も考えるべき(視覚・聴覚障がいなど、ホームページが見られない等)	全ての人に情報が伝わるように					情報伝達を提供できる人を養成する	
			100	防災無線は全く聞き取れない世帯が多い。もっと確実に伝わる方法も考えてほしい							
	25	1	101	歩道の除雪は通学道路をできるだけ第一に実施してもらいたい	車道が狭くなり、子どもが危険なことになりかねない			委託業者にもそのことを意識してもらいたい	最悪の場合は臨時バスを用意することも提案します		
			102	歩道除雪の予算が県から縮小されつつあると聞いています。せめて子どもたちの通学路だけでも早めに除雪を願う	車道を子どもが通学するのは危険だと思う			農家が所有している大型トラクターを活用することも考えてもいいと思う	危険箇所のチェックを望む		
			103	歩道除雪が通学・通勤時間に間に合わないことが多々あるので、間に合う体制にしてほしい	児童が道路を歩いていることがあるので、できるだけ現場の判断で対応してほしい					除雪機械の整備	
		2	104	道路除雪について、降雪量が多く除雪が追い付かない状況の対応。深夜・夜間の通勤者対応(通常とは別の勤務状況の方などの対応)							
		3	105	消雪パイプ・井戸の老朽化が路地で目立つ。計画的な見直しを要するのではないか?	消パイがあっても雪が消えない。重機も入れてもらえない	個人的に市道の除雪をしているが、おかしな話ではないか?			パトロールの強化等		
		5	106	雪おろしサポート制度	気軽に参加できるサポート制度	雪おろしをしてもらったら夕食と一緒に食べてもらう					
		1,2,4	107	除雪車の作業によって固められた雪を残さない、またはさらに除雪すべき	除雪車の作業後に残された雪で家の前、通学路等がふさがれて困る人が多い	通学路や高齢者世帯宅前等の除雪ボランティアをする	雪を残さないような除雪をすべき		事業者、市民への協力を呼びかける		
	ふれあいの泉水	26	1	108	子供見守り隊の活動を充実したらどうか?各課に同様の活動があれば一本化してもいいのでは	既存の見守り隊の存在が弱くなっているため					
			4	109	0~18歳が利用できる児童館、児童センターを設ける	全ての子どもが利用できる施設がほしい				1	
—			110	大人と子どもがともに学ぶ環境づくり	人間関係の希薄化が心配される	地域のコミュニケーションに努める					
27		2	111	まちなかの空洞化や空き家が増え、高齢化が進み、民生委員の負担が大きく、その対策が急務と考える	民生委員の人員確保が必要と思う			民生委員の確保が難しければ、民間委託業者があればいいと思う			
			112	民生委員の方は地域において適切な助言とともに人情ある心配りのできる人。適格者である	人と人との関わりは一番大切であり、難しいことだから	支えあうまちづくりに協力する					
28		3	113	日本語教育支援以外にも、日常生活の支援も行うことが必要だと思う	外国籍市民も五泉市にとって必要な人材であり、定着・定住には日常生活の支援が欠かせないため				相談窓口等の設置	1	
	—	114	外国から来られた方々にやさしい看板や言葉が通じる店舗をわかりやすくする	外国人をおもてなしの心で迎えられる市であってほしい					1		
活気の泉水	29	1	115	共通商品券の見直し(出産祝券の復活)	現在共通商品券の利用は少ない						
			116	女性企業家を中心にした空き店舗活用を望む	主婦や子育て世代の女性に活躍してもらいたい				パンフレットなどのPRをして助成金も考えてもらいたい	2	
			117	空き店舗を活用する場合はトイレや駐車場の整備も必要です。長期で街中に営業できる対策が必要です	一定期間の補助では、その期間が終われば運営できなくなり、また	なじみのお店を持ち、いろいろ意見を述べる	お客様とのコミュニケーションづくり		一時的ではなく、長期の目線での対応	1	

基本政策	施策 No.	項目 No.	意見 No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいね シール数	
						市民	事業者	行政		
活気の泉水	29	4	118	五泉のニット製品が常時買えるスペースがあると良い	市内で買えると市への集客につながる				1	
		5	119	中心市街地をどうしていくのか考えた場合、どうしてもジャスコの跡地問題の解決が急がれます	中心市街地を活性化するには、その将来図を描く必要があると思います	中心市街地に必要なものを提案していただく		市民の要望を受け止め、実現のための方策を練る		
			120	人口減少の中、中心市街地活性化の為にコンパクトシティをめざし、街中に行政施設や人が集える場所が必要だと思います	中心市街地を活性化するには人が集中的に集まる場所が必要			このまちのデザインを作る	1	
			121	本町1の吉田家の活用 例)北方文化博物館	商店街の中心にあり、集客の拠点となるのでは	商店街の方々への応援	経済的応援、自社のできる応援をする	個人のもので、粘り強い交渉を		
			122	市街地にアンテナショップ	情報発信の場が地元には無いようだから					
	7	123	市場を商店街のアーケードや空き店舗を利用できるようにする	空き店舗が日常的にふれあいの場として使える自由な趣味の場であったり、軽い運動等もできると良い	場所で手作りを教えたり、教わったりお互いが学ぶ					
	30	4	124	小中学校の生徒への働きかけ。こどものファッションショーの開催の復活、自分がデザインしたニット製品を着る	数年前にニット工業組合の青年部が行っていたが中止になった。子どもたちには好評だったので、ぜひ復活してほしい。地元ニットへの理解が深まる	子どもたちの参加を後押しする	エネルギーが必要だと思うが頑張してほしい	大きな支援を		
		5	125	市内にニットを常時展示販売する場所がほしい	知人を気軽に連れて行けるような場所を知らないため		ニットを販売する場所(お店)のPR	市内・市外へのニット製品のPR	1	
	31	1	126	新大農学部の校舎を村松に移してもらい、生徒に村松に住んでもらう	空家に住んで、利用してもらう					
		3	127	パートでも条件を満たせば有給や育休が取れるようにする	女性(男性も)が働きやすい環境を整えるため					
	32	1	128	五泉のさといもは市外の人にも大変評判がいいのですが、生産規模が小さいような気がします。全国規模にするためのプラン作りが必要では					加工品などの二次産業の育成	
			129	「きぬおとめ」ブランドを全国ブランドに!	県内の人でも「きぬおとめ」を知らない人がまだいます。良いものなのでもっとPRしてほしい					
			130	農産物をブランド化させるためにPRを進める	農産物はおいしいものがたくさんあるが、認知度が低い				PRのサポート、協力や補助	
		3	131	ブランド確立のための宣伝力アップと地産他消(市外、他県、東京・海外への売り込み)	まだまだ宣伝ベタ。発信力は未知数				農林課	3
			132	環境保全型農業の推進について	これからますます減農薬が必要であるから、もっともっと進めてほしい					
			133	安全・安心な野菜を生産するためのサポート制度を作る	減農薬を実行することは環境を守るためにもなる。農薬は土がやせるといわれている	生産者は環境問題を学ぶ			指導が必要	4
			134	有機栽培の野菜を作る	売っているところが少ない					
	4	135	農産物で製品化できるものの開発	さといも、チューリップなど良い農産物はあるが、産物としてのもので、例えばぶどうなどのワイン・ジュース・ジャム等に製品化できる産物がほしい						
		136	農産物の出荷基準が厳しく、出荷できない農産物が多いので、それら加工品として販売できれば無駄がなくなる	利益が増え、廃棄する労力も軽減される						
	33	1	137	農学連携で大学生の実習受け入れを進める	将来の相手になってくれることを期待	一般農家		農林課	1	
			138	急速に進む高齢化と担い手不足の対応策として、集落営農をJA出資型の法人にするべきだと思う	農地集積を図り、効率化を進めないと地域農業の衰退につながる		JAの理解が必要			
			139	外国人就農者の積極的雇用	担い手不足を補うことと、市内の市街地活性化					
	5	140	耕作放棄地の利用。小規模でも借りられるように		貸し借りを気軽に		市民の間に入って仲介する。空き農地バンク	1		
	34	1	141	国は2030年までに農地の8割を担い手に集約し、基盤整備事業を行う目標なので、農家も土地改良区も行政も理解が必要	コスト低減と作業の効率化を図り、農業経営の安定化を目指す				4	
		4	142	自然環境に配慮した用水等の整備	自然の動植物が生育できる環境を					
	35	4	143	市内の木材を利用し、木炭を作る	消し炭など気軽に作れるように					
	36	1	144	SL(ばんえつ物語号)の活用、五泉四華との連携を考える	SLの客を五泉で降ろす					
			145	新潟市への交通アクセスの構築	観光客が来泉しやすくなる					
		2	146	五泉の花シリーズの主流であるチューリップまつり、ポタンまつり、それと秋のさといもまつり、農業まつり、どれも25年過ぎています。今後の祭りの在り方をこれから考え、観光振興につなげたいと思う	チューリップまつり、ポタンまつりの来場者数が年々減少傾向にあるため、関係機関が知恵を出してリニューアル的な新しいまつりにするべきだ				1	
			147	文化に対する注目度が五泉では少ない。五泉の文化人や展示物のルートを作るべき	吉田様や近藤喜文氏など、せつかくの文化的な要素が生かされてない	情報の発信	観光ルートや関連商品の開発		1	
3		148	「きぬおとめ」を活用した、五泉市オリジナル商品の開発	素晴らしい商品が開発されれば、遠くからも五泉市に買い物に来てもらえると思う	市外の知人へのPR、購入	商品の開発	商品のPR			
4		149	観光大使の創設、PR	お金がかからない						
5	150	中心となる施設を一流の建築家に設計を頼み、話題性を作る(複合施設)	国内、海外でも有名建築家の作品が火付け役となってまちおこしに成功している例がある					1		
	151	既存の歴史的建造物と自然を観光地として整備や美化	新しい建物を造るより、もとよりあるものを活かしてほしい							

基本政策	施策 No.	項目 No.	意見 No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいねシール数		
						市民	事業者	行政			
快適の泉水	37	1	152	今、社会的に食品ロスが問題視されている。スーパー、料理店、コンビニなどと連携して廃棄される食料品を減らすことが重要	もったいない精神が必要	各家庭からの生ごみも多いので、減らす意識が必要					
		2	153	昔ほど学校や町内会でのリサイクル活動が見られない感じです。古着などの布もリサイクルに力を入れればリサイクル率も上がるのでは	五泉市は県内では珍しいごみ処理無料の市です。これを維持できるよう、ごみの減量化をもっとアピールすべき	ごみの分別化を徹底する	同左	PR(継続的に)			
	38	5	154	地域住民が河川や側溝などの環境美化活動を自らやりたくなるような仕組みがほしい	自分は正直あまりやりたくないから	積極的な活動への参加			活動した人への何か?(インセンティブ)		
		-	155	下水道工事が市内全般に設置できるよう、各家庭はつなげるよう実行する	河川水がきれいであれば水も汚れることになるから						
	39	5	156	新潟市へのアクセス道路の計画、実行のスピードアップ(具体化)	人口減の歯止め、市外からの人口流入の促進					1	
			157	東南環状線を早く開通してほしい。また、そこから新潟市の赤道に続く道路も計画してほしい	道路整備は計画だけでなく、すばやく作ってほしい						
	40	1,4	158	新潟市への交通アクセス	商店街の活性化、安定化等々は人口増が基本的に必要ではないか						
		1	159	市民バスのダイヤの見直し	土・休日は最終バスが早く、利用しづらい。年末年始もバスを走らせないといけないと思う					小さなバスにして運行する	
			160	JR、公共バスの新津-五泉駅間の通勤・通学時間帯の増便と相互利用	1本逃すと1時間近く待たなければならないため						
		2	161	「五泉版フォーチュンッキー」のような、ばんえつ号から見える風景や応援する人たちの動画でPRする	市民が意識を高めるために						
		5	162	五泉駅の前に駅を利用する人が買い物ができる場所がない	何も買う場所がない						
	163		五泉駅の南北を移動する跨線橋は現在階段ですが、エスカレーターかエレベーターを設置する必要	高齢者や足の悪い人の為にも	公共交通を利用するよう心掛ける					1	
	41	1	164	新潟杉プロジェクトと連携した地元杉を使った景観条例の制定	まち並みは観光資源になる。地元杉の有効利用						
		2	165	空家の利用	市内にたくさんある空家を再利用することで、コンパクトシティになる	借りやすく、貸しやすい			市が借り上げて市営住宅などに利用する。空家バンクの設置		
		3	166	旧ジャスコ跡地の有効利用	まちの中心地域に現状のような建物が残るのは見るに堪えない					1	
	42	2	167	素晴らしい村松公園を今一つレベルアップし(周辺環境含む)、桜の名所にする	一年を通して観光客を誘致できるように				都市整備、商工観光		
			168	横越公園のような、家族が一日中楽しめるような施設がほしい	子育て世代の人口増						
			169	村松公園の改修(大型遊具等)、桜の木のオーナー制度	桜の木は老朽化が目立つし、増やしていかなければ絶えるのではないか					2	
			170	村松公園の整備(桜の植え替え)	今はほぼソメイヨシノばかりなので、いろいろな種の桜を植えて花見できる期間を長くするとともに、古木が危険なため					2	
	計画の推進	43	-	171	福祉、ボランティア、生涯学習それぞれのすべきことを整理し、連携する	要員を養成するために					
172				協働の土台作りとしてセミナーの開催等	ある程度のルールがあった方がよい	協力し、参加に努める					
173				ボランティア活動をしている団体への支援が必要だと思う	ボランティア活動で行政が助かっている部分があると思うが、団体は財政基盤が弱いと思うから				団体への支援(PR、場所の提供、金銭 他)	1	
174				行政と市民との交流の場や身近なテーマでの交流(固くないもの)	行政と民での「すれ違い」があるのではないか						
44		-	175	身近なことでこういうことは人権侵害になる、と示す	知らないことがあるのでは					1	
			176	人権・平和の教育を初等教育の段階でしっかりやる	道徳教育の為にも						
45		-	177	男女共同参画に対する意識の醸成には時間がかかるが、若年層には(中高年層より)浸透しつつあると感じる。延長保育の充実など、引き続き側面の支援も前向きに進めていただきたい。広報・啓発活動の取り組み強化を期待する。職場環境重要	市役所をはじめ、「市男女共同参画推進審議会」から各事業所へと意識醸成推進のための環境づくりが広がるよう努めていけるとよい						
46		-	178	ボランティア活動について、市民が気軽に参加できるようにする(地域づくり・消防・子ども・高齢者⇒参加するきっかけ・方法)	参加割合が低下している				ボランティアの中心的なセンターを開く		
			179	地域活動の支援、公民館活動、お茶の間サロンの充実(まとめ役が不在で運営が難しい地域がある!?)	特に山間部は活動の幅が限定されがち(足の問題、環境の問題)					2	
			180	他町内会との交流・勉強会があるといいのではないか	自分の町内会の活動しかわからない。他の良い取り組みがあれば真似したい				場の提供		
47	-	181	市議会のインターネット中継		気軽に市政に参加できる			開かれた議会になる	1		

基本政策	施策No.	項目No.	意見No.	施策に対する提案・意見	その理由	関わり方			いいねシール数	
						市民	事業者	行政		
計画の推進	48	—	182	人口減少と高齢化が全国的に社会問題になっています。理想的なまちづくりを実現するためには、財政の健全化が絶対です	企業の誘致や雇用を確保し、少しでも人口減少を食い止めて税収の確保がないと社会保障や行政サービスの停滞を招く			危機意識をもって対応してもらいたい	3	
	49	—	183	さくらんぼ温泉の指定管理を市内の団体に				第3セクターの会社を設立、指定管理を任せる		
	50	—	184	市役所窓口の予約制	待ち時間が無くなる					
			185	本庁と支所の業務分担	支所の窓口を少し広めてほしい(観光課があっても良かった)	村松から五泉に移動することが多すぎて不便がある				1
	51	—	186	市の職員採用のことで、新人の職員は半年くらい現場に出るのも人間形成の上でいいのではないかと。将来的に市に役立つ場所(市内・市外、海外でも可⇒成果を上げる)	職業に対する理解が得られれば将来的にいろんな面でプラスになると思う					1

◆参加者名簿 (◎:会長、○:副会長) ※順不同

No	所属等	氏名	出席状況	
			第3回	第4回
1	五泉商工会議所 商業部会 副部会長	田中 弘	●	●
2	村松商工会 理事	今井 将人	●	●
3	五泉建設業協同組合 副理事長	近藤 輝夫	●	●
4	五泉織物業協同組合 副理事長	○横野 恒明	●	—
5	五泉ニット工業協同組合 事務局長	高橋 正春	—	—
6	五泉市観光協会 理事	瀧澤 準	●	●
7	J A新潟みらい 五泉園芸組織連絡協議会 前副会長	阿部 良夫	●	●
8	J A新潟みらい 村松特産振興協議会 副会長	川瀬 和博	●	●
9	五泉地域認定農業者会 会長	齋藤 昌彦	●	●
10	村松地域認定農業者会議 会長	牛脇 明仁	—	—
11	五泉市母子保健推進員の会 副会長	豊島 恭子	●	●
12	五泉市障がい者総合支援協議会 副会長	中山 孝子	●	●
13	五泉市老人クラブ連合会 会長	羽田 松美	—	—
14	五泉市小中学校校長会 五泉南小学校 校長	羽生 泰彦	●	—
15	五泉市小中学校PTA連絡協議会 会長	魚野 ルミ	●	—
16	五泉市体育協会 会長	◎田島 富太	●	●
17	五泉市文化協会 副会長	岡村 正人	—	—
18	五泉市消費者協会 会長	山下 キミ子	●	●
19	一般社団法人五泉青年会議所 理事	伊藤 傑	●	●
20	新潟県新潟地域振興局 企画振興部 地域振興課長	安達 和行	●	●
21	市民公募委員	齊藤 明	●	●
計			17名	14名

第3回実施状況

A班



B班



C班



第4回実施状況

会場全体



いいねシール投票



成果一例

